

平成25年度第2回「市長とランチでトーク」

- 開催日 平成25年8月19日（月） 12:00～13:00
- 内容 市役所3階第2応接室にて市長と懇談
- 出席者 <参加者> 宇都宮短期大学附属高等学校 生徒10名
<市側> 市長

- 主な内容（抜粋）

≪昼食メニューの説明≫

生徒： とちぎゆめポークと夏の野菜を使ったヘルシーカレーです。とちぎゆめポークは肉質が軟らかくてうま味の強い豚肉で、ビタミンB1とB2が豊富に含まれているので夏バテに効きます。また、カレーは新陳代謝を高めてくれるのでこちらも夏バテに効果的です。

市長： とてもおいしいです。

生徒： ありがとうございます。

シトロンビジュというケーキは市内の洋菓子店と生活教養科の共同開発第2弾として作りました。濃厚なサワークリームが入った生地の中に隠れた甘酸っぱいレモングラッセが口いっぱいに広がる柑橘系の爽やかなお菓子です。

カラメルフロマージュは那須高原の牧場と生活教養科の共同開発第1弾スイーツです。大自然の中で育ったガンジィ乳牛の濃厚なミルクをたっぷり使ったチーズケーキにざっくりナッツと香ばしいカラメルのケーキです。

市長： このデザートは誰が担当して作ったのですか？

生徒： 生活教養科の生徒です。

市長： 野菜はどこで生産されたものですか？

生徒： 野菜は主に陽南地区と雀宮地区のものを使っています。



《宇都宮のPRについて》

生徒： 宇都宮のよいところをもっと広めるためにしていることは何かありますか。

市長： 宇都宮はいいところだと知ってもらうために、まずは市民のみなさんに、そして全国に広めていこうということで、ブランドメッセージというものをつくりました。

市民の方々に参加していただき、宇都宮の良いところや悪いところを出していただいて宇都宮を表現するメッセージとして「住めば愉快だ宇都宮」を作りました。

また、宇都宮を発信するにあたり、経済誌などが行っている自治体のランキング調査で全国1位や2位になったので、これも併せて宣伝材料にしようということになり、今、宣伝活動を行っています。

《宇都宮の魅力あるものについて》

生徒： 市長さんにとって宇都宮で一番魅力的な場所やものを教えてください。

市長： 場所ではJR宇都宮駅です。1日の乗降者が7万人います。これだけの人が集まるのは宇都宮ではJR宇都宮駅だけです。宇都宮は都会と田舎の顔を持っていると思います。上河内地区の立伏町の辺りの豊かな自然や大谷の奇岩群は自慢できる場所だと思います。

ものでは農産物です。宇都宮ではほとんどの野菜を作ることができます。畜産では宇都宮牛は全国トップクラスです。1位、2位を争う、質の良いものが宇都宮にあるというのは素晴らしいことです。農家の支援をしっかりと行い、農家を増やしていき、いざという時にも安全で安心して新鮮な食料を市民の皆さんに提供でき

るまちを作っていくこともこれからの大きな課題です。

《市長が好きな料理, よく作る料理について》

生徒： 普段はどういうものを食べていますか？好きな料理やよく作る料理はありますか？

市長： お昼は基本的に家からお弁当を持って来ています。お弁当はいつもご飯に焼き魚などの一品とトマトなどの野菜です。ピーマンが好きなのでピーマン炒めものを必ず入れます。好きな食べ物は野菜が好きです。嫌いなものはありません。よく作るのは卵料理です。お弁当の中に入れるオムレツや卵焼きも作ります。

市長： 皆さん今日は大変おいしく且つヘルシーで、地産地消を意識していただいたカレー料理をいただきました。ありがとうございました。本当に感激しました。宇都宮の宮染めシャツもありがとうございました。さまざまな点で苦しいこともあると思います。苦しいことを経験すると必ず後で自分にプラスになり、人間力を高めることが出来ます。社会人になるとうれしいことや楽しいことばかりではありません。それを乗り切ることが出来るようにするためには人間力を高めることです。そのための一つの方法は我慢をすることです。我慢するというのを是非覚えていただきたいと思います。そういうことを心がけていただき、自分の夢を叶えていただきたいと思います。



市長とランチでトーク参加者のみなさん